

学校教育目標	いきいき学び、輝く大道っ子 (知)自ら学び、自分の思いを表現できる子を育てます。 (徳)友だちとのかかわり合いを大切に、誰とでもなかよくする子を育てます。 (体)心と体をきたえ、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。 (公)地域に愛着をもち、地域と共に生きる子を大切にします。 (開)様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。					
	学校概要	創立 77 周年	学校長 加藤和之	副校長 落合史男	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 2
児童生徒数: 358 人		主な関係校: 大道中学校 朝比奈小学校 六浦南小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力>	大道中学校 大道小学校 朝比奈小学校 六浦南小学校	自他の関係づくりを大切にする子ども ・「コミュニケーション能力の育成」をテーマとし、各教科・領域において授業を展開する。 ・教務主任会や専任会での情報を基に、「学習・生活スタンダード」の改善を進める。 ・学習指導、児童・生徒指導の情報共有をていねいにし、自己有用感を高める取り組みを進める。 ・「児童生徒交流日」と「別日程の小中の児童・生徒の交流日」を積極的に活用する。

中期取組目標	【安心】～どの子ども安心して生活できる学校を目指します。 ○児童支援体制が生きてはたらくものになっているか常にチェックし、チームで子どもを支援できるようにする。 ○子どもが自分や友達のよさを大切に、互いに尊重し合える子の育成を図る。 【つながり】～人や地域とのつながりを大切にする教育活動を進めます。 ○子どもが主体的に学べるよう、問題解決的な学習の充実を図り、子ども同士のつながりを大切にする。 ○異学年同士がつながる学習(なかよし班の活動)を大切に、優しい心や規範意識の醸成を図る。 ○地域の材、人がより有機的に学習とつながるよう教育課程の編成を工夫し、地域と共に生きる子の育成を図る。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 教務部	①各教科で「書く」「読む」活動を積極的に取り入れ、的確に理解したり目的に応じて表現したりできるようにする。②ペア・グループ・全体等、形態を工夫しながら、話し合う場面を多く設定する。③子どもの気付きや問題意識を重視することで、学習に対する興味・関心を高める。
豊かな心 担当 重点推進委・人権児童指導部	①人とのつながりの基本となる挨拶が、誰に対しても自分からできる子を育てる。②道徳教育の推進(重点研究)を通して、自らのよりよい生き方を求め、自他のよさを尊重できる子の育成を図る。③異学年で構成するなかよし班の活動を充実させ、優しい心や規範意識の醸成を図る。
健やかな体 担当 体育部	①歯みがきタイムに継続して取り組み、自分の健康に対する意識と習慣を身に付ける。②一校一実践運動に「縄跳び」を取り入れるとともに、マラソン大会など児童の体力向上につながる活動を実践していく。③食べ物や健康の大切さについて栄養教諭や養護教諭と連携した授業を行う。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し、保護者とともに、当該児童のアセスメントをしっかりと行い、今どんな支援が必要または有効なのかを具体的に考え、行っていく。②特別支援教室を2部屋設けたので、効果的に使用できるよう、計画・施行・チェックを週末の会議の中で行っていく。
教育環境整備 担当 教務部	①とんぼ池や花壇、田んぼなど校地内の環境を地域の方と協働しながら、職員が維持・管理するよう努め、生きた学習につなげる。②掃除の仕方について保健委員会を中心に全校によびかけ、美化に対する子どもの意識を高める。③計画的に教材・教具・図書などを整備するとともに、日頃より整理整頓を心がける。
地域連携 担当 地域交流委員会	①子どもが主体的になれるような活動を目指して、地域交流委員会を中心に、地域とのかかわりや行事の見直しを図る。②学校運営協議会の設置に向けて、「まちと共に歩む学校づくり懇話会」での話し合いを進める。
児童指導 担当 児童指導部	①「スタンダード」を引き続き全職員で共有して指導を行うと同時に、必要に応じて見直すことで、よりよいものにしていく。②職員会議で児童の状況を共通理解できる場を引き続き設定する。③学校生活以外でも、マナーやルールを守って生活できるように全職員で指導にあたる。児童も保護者も安心して相談できるような環境づくりに努める。
担当	b8
いじめへの対応 担当 いじめ防止委員会	①教職員のいじめへの感度を高め、小さなことでも、学年や専任、管理職と共有し、早期発見、早期解決を目指していく。②Y-Pアセスメントシートや、横浜プログラムを活用し、いじめ防止の支援・指導を行う。③いじめアンケートを活用し、校内のいじめの把握に努め、被害者をしっかり守るという意識で、対応に当たっていく。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 メンターチーム	①学年やブロックにおいて、週に1度の研究会を継続して行う。課題や行事について共通認識を図り、指導や教員間の信頼関係づくりにつなげていく。②メンターチームを月に1度開き、経験年数の浅い教員だけでなく学校全体で共有した方がよいテーマも取り上げ、人材育成に取り組んでいく。③働き方改革として、効率的に業務を行えるように「ミライム」を導入し、活用していく。